

計業務等を発注するとともに、今後の事業の進め方について、地元関係自治会に説明会を実施しました。今後は、詳細設計の作成後、境界立会を実施し、用地取得に入る予定です。

引き続き、地元の方々のご協力をいただきながら、東日本高速道路株式会社、千葉県長柄町をはじめ、関係機関と連携し、早期の供用開始に向けて取り組みます。

### ◆長生グリーンライン

圏央道の開通に併せて700mが供用開始され、その残りの6.5kmについて、長南町坂本地先で改良工事が進められています。

茂原区間は、野牛・台田・立木・三ヶ谷地区の皆様を対象に、境界立会に関する説明会を2月に開催し、平成26年度から用地取得に入る予定です。

本道路は、圏央道にアクセスする重要な道路であり、本市においても関係機関と連携し、さらなる事業促進に努めます。

### ◆県道茂原環状線

小林工区は、主要地方道千葉茂原線から国道128号腰当交差点までの間が整備され

ており、圏央道の開通に伴い、バス機能としての重要性を増していますので、今後とも県と連携し、早期整備を図ります。

上永吉工区は、本年度の完成に向けて、鶴枝橋の架け替えが実施されており、その後、茂原環状線と茂原大多喜線の交差点改良が、平成27年度に実施される予定です。

### ◆都市計画道路の整備

高師町下井戸線は、銚子信用金庫から国道128号間の130mについて、本年4月1日から供用開始の予定です。



▲完成した高師町下井戸線

### ◆メガソーラー事業

「合同会社茂原ソーラーユーニア」は昨年12月に土地賃貸借契約を締結しました。

現在は、造成工事が進められており、本年6月の太陽電池モジュールの設置完了後、

7月から売電を開始する予定です。

### ◆住宅用太陽光発電の普及

再生可能エネルギーの導入促進および市内における二酸化炭素の排出量削減並びに地球温暖化防止のため、県の補助金を活用し、住宅用太陽光発電の普及に努めます。



### ◆農地の集積

国では、農林水産業の競争力を強化するため、担い手への農地集積、農商工連携による6次産業化の推進等に取り組む方針として、「攻めの農林水産業」を打ち出しました。

この中で、農地集積については、各県に「(仮称)農地中間管理機構」を設置し、担い手へ集積することとなります。

ので、本市においても、茂原市地域農業再生協議会において、担い手の育成および耕作放棄地の再生利用等の方向付けを行います。

また、新規就農者の定着や

地域の中心となる経営体への農地集積などが円滑に進むよう、各集落内での話し合いを通じ「人・農地プラン」を策定します。

### ◆農業基盤整備事業

平成26年度に新川地区のかがい排水事業の整備を行うとともに、早野地区等のため池や小林地区等の用排水路の整備を行い、土地利用の高度化および経営の安定化を図ります。

### ◆企業誘致

本市の産業経済の振興、就業機会の拡大および市民生活の向上とともに財源の確保を図るため、重要施策として引き続き推進します。

沢井製菓株式会社については、昨年3月に当面20億円の生産ラインとして操業を開始しましたが、40億円の生産ラインの設備投資を図っており、今後も雇用の拡充が出来るものと期待しています。

同じく昨年6月に操業開始した株式会社ジャパニーズプレイについては、本年3月に株式上場が発表されましたので、今後はさらなる設備投資により、雇用の拡充が図れ

るものと期待しています。

「茂原にはる工業団地」については、平成25年度に基本設計が終了し、平成26年度に実施設計が行われ、工事着手される予定となっております。平成29年度に分譲開始に向けて県と連携を図り、事業の推進に取り組みます。

### ◆観光事業

本市の最大イベントである「茂原七夕まつり」が今年で60回を迎えます。記念の年になりますので、例年以上に盛大なまつりにしたいと考えます。

まず、昨年ご好評をいただいた市民参加による「七夕竹飾り」を本年も実施し、これまで以上に飾りを充実させたいと考えます。

さらに、例年実施しているイベントのさらなる充実はもちろんのこと、新たな企画にも積極的に取り組みます。

また、圏央道を最大限活かした観光振興を図るため、昨年12月に作成した「観光パンフレット」や、本市のマスコットキャラクター「モバリん」を活用するとともに、近隣の市町村と連携し、広域的な観光施策を推進します。